

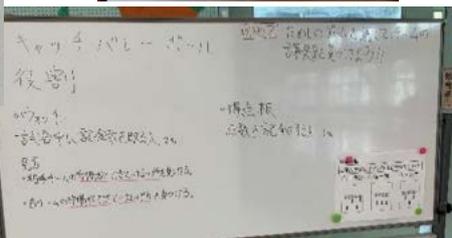
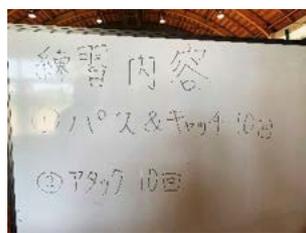
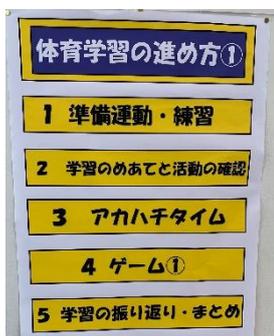
第2時

ボール各チーム2つ、コートなどの準備
(コートは4コート)

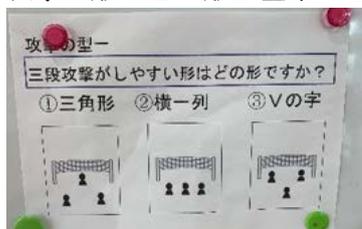


準備体操

・授業の流れを確認



攻撃の形はどの形が基本になりそう？



試しのゲーム

振り返り・まとめ

次時への道しるべ

授業の流れ

1. 授業の進め方を確認
2. 練習の仕方について、実際に動きを見せながら確認 (練習時間 3分)
3. 今日のためあての確認と知識テスト「攻撃の型一」を実施 (アカハチタイム: 6分)
 - ・知識テストの答えを見つけるためグループごとに項目を実践させる。その際、全体で実践の仕方を確認してからグループごとに行わせた。
4. 知識テストの答え合わせ 答え①
5. 試しのゲームで実践
6. ワークシートにてふり返り

授業を終えての感想

○昨年度の経験を活かし、3段攻撃まで行うことができていた。

●2回目にセッターに渡す意味が理解できておらず、うまくアタックまで行かないことも多かった。

授業の終わりに、子どもたちから動画を見せてほしいとお願いがあったので、昼休みに動画でアタックの仕方を確認。サーブを取ったらネットに一番近い人(セッター)に渡すと、うまく攻撃できることに気づく。また、セッターは相手チームに背中を向けながらプレーしていることにも気づく。

次時は、攻撃の型一を維持しながら3段攻撃ができるように意識させたい。特に動画で気づけたセッターの立ち位置と向きに注目させたい。

第3時

号令

体操・練習

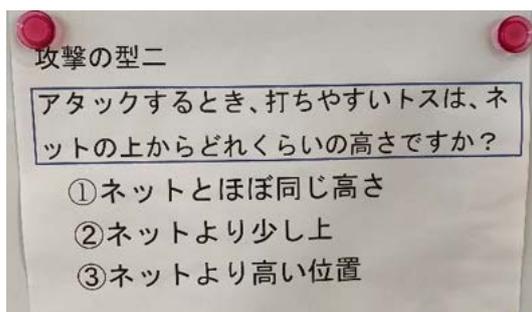
パス2種類とアタック練習



課題確認(めあて、知識テスト)

めあて

トスの高さやあげる場所を工夫して、アタックをたくさん決めよう。



試しのゲーム(今日の課題、めあてを意識)

振り返り(めあてからの振り返り)



ワークシート記入(全部記入させる)

号令

片付け(役割をはっきり)

授業の流れ

1. 前時の振り返り

2. 今日のめあての確認と知識テスト「攻撃の型二」を実施(アカハチタイム:6分)

・知識テストの答えを見つけるためグループごとに項目を実践させる。

3. 知識テストの答え合わせ 答え③

4. 試しのゲームで実践(10分) p

5. ワークシートにて振り返り

授業を終えての感想

○フォーメーションとセッターがトス上げるということを意識したことで、アタックが打てるようになってきた。

●トスを上げる位置がネットより遠く、アタックが決まらない場面が見られた。

*次時の課題

●サーブを打つ場所と順番の確認ができていなかった。

●ラリー中にセッターが1番目にキャッチしたときの動きの確認ができていなかった。

●ブロックしようという意識ができていない

前時の確認をしたことで、スムーズに攻撃ができるようになってきた。また、ラリーが続くようになってきた。

ワークシートの記入が出来ていない子があるので、記入させる手立てを考える。また、片付けの役割分担が出来ておらず、活動に差があったので次時からは役割分担を明確にして、全員が活動できるようにする。

第4時

体操

練習

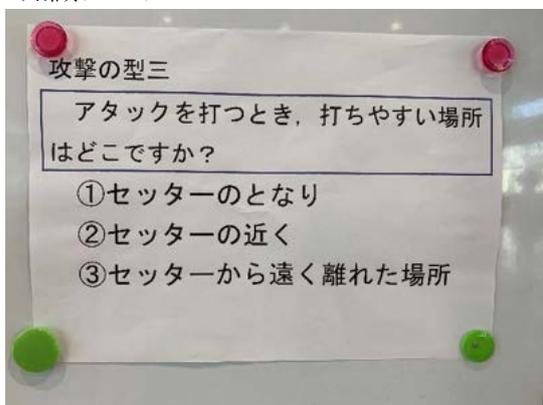
パス、アタック

実践練習をするグループが出てきた
試合形式で練習してよいと全体で確認。

めあて

アタックをたくさん決める方法を考えよう

知識テスト



実際に試してみよう

練習後に「何番がいい？」

2番 理由は遠いと間に合わない
セッターにボールを渡したら素早く移動して打つ。

みんなで練習して試してみよう。

ゲーム5分

パスがスムーズになってきている

※ローテーションをしていないグループあり。同じ人がトスを上げて同じ人が打っている。確認が必要。

ワークシート記入

*準備の仕方、片付けの仕方を事前に確認して、全員で取り組めるように手立

てを行った。

授業の流れ

1. 前時のふり返り
2. 今日めあての確認と知識テスト「攻撃の型三」を実施（アカハチタイム：6分）
・知識テストの答えを見つけるためグループごとに項目を実践させる。
3. 知識テストの答え合わせ 答え②
4. アタック練習（20分）
5. 試しのゲームで実践（5分）
6. ワークシートにてふり返り

授業を終えての感想

○攻撃の型三の位置を見つけるための練習をチームで行うことが出来た。

●ジャンプアタックを打つ時のタイミングが取れなかった。

●サーブを打つ場所と順番の確認ができていなかった。

前時の学習を振り返った後、アタックを打つ場所を確認した。しかし、サーブをセッターに渡してから移動が遅く、トスが合わないことが多かったため、攻撃のタイミングについて確認をしたが、全体に上手く伝えることが出来なかった。また、ルールの確認が不十分で、試しのゲームでサーブの位置やローテーションの仕方にばらつきがあった。

昼休みに、アタックするまでの動きの確認と、し合いを行う時のルールを再確認した。

アタックについては、スムーズに攻撃するには、セッターに投げあと自分たちが思っていた以上に素早く移動することが大切だと感じていた。
児「こんなに早く動かないといけないばー」

追記

7月7日6校時

・学習の感想を書いた後、次の授業についての質問があったため、学習内容を確認。その中で、作戦について知りたいという声が出たため、動画を交えながら、作戦を解説した。基本の動きをベースにして作戦が組み立てられていることを確認した。また、チームの特徴を考えると、得意な事を名前にするといいのではないかと提案した。

足の速い子が多いチームなら「スピードスターズ」のようなキャッチフレーズで。

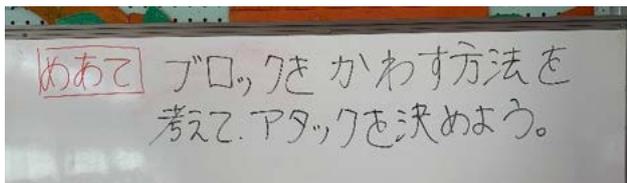
第5時

新しい流れ



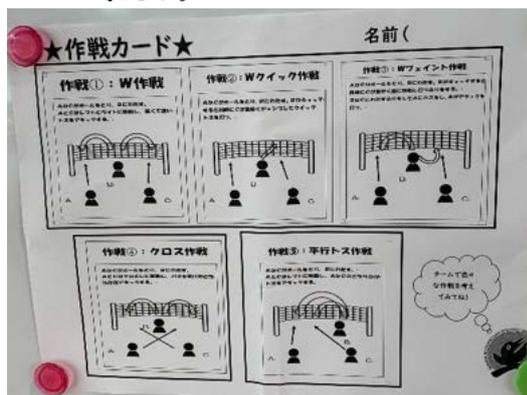
体操

めあての確認



作戦タイム

チームで集まってどの作戦にするか1分で考える。



考えています



授業の流れ

1. 前時のふり返り
2. 今日めあての確認と作戦タイム (1分)
 - ・作戦確認後練習 (5分)
3. 第1試合
 - ・前後半7点先取、合計点で勝敗
 - ・試合中どちらかが4点取ったらアカハチタイム (30秒)
4. ワークシートにてふり返り

*2試合目にいけずに授業時間終了

授業を終えての感想

- 3段攻撃までの流れが出来ていた。
- アカハチタイムで話し合う時に視点を決めて話し合わせる事が出来た。
- 流れの確認を一つずつしていったので2試合目が出来なかった。

授業の始まりから終わりまで、授業の流れを確認したため、2試合目まで行くことが出来なかった。

試合中は、作戦に沿って動きを確認する姿が見られた。動画で動きを確認していたので、比較的スムーズに作戦内容を理解することができていた。動きがまだついてきていないため、アタックをミスする場面も見られた。試合中に、声かけをすることがあまり出来ていないので、「声かけや拍手があるとイイネ」の声かけを授業の最初に行きたい。

次時は、流れを止めずに2試合させたい。

作戦を元に練習



ゲーム①

ウォッチマンの確認、ボードに得点場面記入

それをもとにアカハチタイム。



どちらかのチームが7点に達したら後半と入れ替え。

- 1 試合の終了があやふや
- 2 コートの得点スピードがことなるので同じタイミングで終われない。区切りの付け方を再確認。

1 試合目の反省を活かした作戦タイム

今日は2 試合目に間に合わない状況ができた。どこかで短縮を図る必要あり。

試合時間を確保するための手立て

・試合で行う「作戦」はあらかじめ決めておいて、授業中は練習時間のみにする

・移動中の私語や、ボールを投げる等の行動がないように確認する。

試合の始めと終わり

・チーム全員で整列して令まで行う。

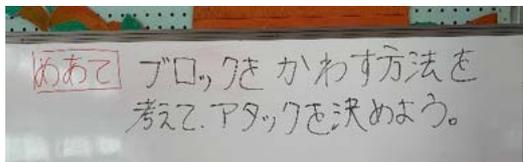
試合時間の差について

・早く終わったチームは、作戦の確認時間とする。
・キャプテンから要望があれば練習時間とする。

第6時

体操、準備は休み時間ですんでいる。

めあて確認



作戦タイム



リーグ戦表提示

ゲーム① ゲームスタートはそろえる
アカハチタイムが充実してきた



授業の流れ

1. 前時のふり返り
2. 今日めあての確認と作戦タイム (5分)
 - ・作戦は確認済みのため練習からスタート
3. 第1試合
 - ・前後半7点先取、合計点で勝敗
 - ・試合中どちらかが4点取ったらアカハチタイム (30秒)

作戦タイム：データシートなどを活用して次の試合の話し合いを行う。
4. 第2試合
 - ・前後半7点先取、合計点で勝敗
 - ・試合中どちらかが4点取ったらアカハチタイム (30秒)

ワークシートにてふり返り



ウォッチマンから指示が出る
ゲーム終了後、作戦タイム



○授業の感想

授業開始前に、コート設営・準備体操を終わらせているなど、とてもやる気が感じられた。

授業開始後、めあてを確認してすぐに作戦の練習に入る。事前に作戦を決めていたので練習時間のみで試合を行った。

試合時間を確保するため、移動時間を短くしようと確認したことで、タイムロスがかなり減った。

試合中の声かけは少なかったが、点を決めると歓声上がり、とても楽しく進められている様子がうかがえた。

アカハチタイム（テクニカルタイムアウト）では、ウォッチマンからのアドバイスを基に話し合う姿が見られた。多くは点を取るためにはどうすれば良いかを話し合っていた。次時は、作戦に視点をおいて、話し合いが出来るように声かけをしていく。

ゲーム②



アカハチタイム



ほぼ同じタイミングでスタートできた。
レベルがそろってきている

振り返り

ワークシート配布

自己評価記入

○授業の感想2

試合間のインターバルでは、試合の課題と次への手立てについて話すだけでなく、あいているコートで、練習する姿が見られた。

振り返りの内容から、子どもたちは、とても高いレベルで、自己編成をしていると感じた。教師の見取りと子どもたちの評価で乖離が見られた。理由として、点数は決まったが作戦が上手く決まっていないと感じている子が多いからではないかと考える。また、負けたチームほど、自己評価が低い傾向が見られた。

次時は、自分たちのチームの特徴や得意な作戦を中心に試合を組み立ててくれるのではないかと考える。

*本時から、対戦表と順位表を掲示して子どもたちのやる気を持たせるように工夫した。p

第7時

めあて確認

自分のチームの特徴にあった作戦を選んだり考えたりしよう。

得意な技を試して試合に活かしてみる。

5分間練習



ゲーム①



授業の流れ

1. 前時のふり返り
2. 今日めあての確認と作戦タイム (5分)
 - ・作戦は確認済みのため練習からスタート
3. 第1試合
 - ・前後半7点先取、合計点で勝敗
 - ・試合中どちらかが4点取ったらアカハチタイム (30秒)
4. 第2試合
 - ・前後半7点先取、合計点で勝敗
 - ・試合中どちらかが4点取ったらアカハチタイム (30秒)

作戦タイム：データシートなどを活用して次の試合の話し合いを行う。

ワークシートにてふり返り

アカハチタイム

得点しやすい場所を狙う。

ゲーム中はウォッチマンからの指示、味方
に応援が飛び交う、ミスをしてでもドンマイ
ゲーム終了

反省、作戦タイム



ゲーム②



アカハチタイム

決まりそうなポイントを狙う

ブロックを外すフェイントをいれよう

ゲーム後半

ボールを持っていない児童が動いていな
いとすかさずウォッチマンが指示をいれ
て動かしている



○授業の感想

授業開始前に、準備体操を終わらせておりとて
もやる気が感じられた。

授業開始後、めあてを確認してすぐに作戦の練
習に入る。事前に作戦を決めていたので練習時間
のみで試合を行った。

授業を観られているという緊張感と、やる気で
行動がきびきびしていた。

試合中の声かけは少なかったが、点を決めると
歓声が上がリ、とても楽しく進められている様子
がうかがえた。また、具体的な作戦に関する指示
やポイントの確認などが行われていた。

アカハチタイム（テクニカルタイムアウト）で
は、ウォッチマンからのアドバイスを基に話し合
う姿が見られた。多くは点を取るためにはどうす
れば良いかを話し合っていたが、攻撃の仕方だけ
でなく、相手チームの点を決めやすいところや、
自チームの守りの弱いところなどを、データシー
トをもとに話し合う姿が見られた。

ゲーム終了

ファイル、ワークシートを準備してまつ
自己評価、ワークシート記入



振り返り



○授業研究会から

問：アカハチタイムの視点はどのように与えたのか？

答：データシートを使って作戦の振り返りが出来るようにした

問：アカハチタイムを入れての変容

答：作戦についての話し合いが具体的になった。また、試合中に振り返りが出来ることで作戦の見直しが出来た。

課題

・仮説にある「課題に気づきやすい状況」を教師が意図的に作ることが出来ていなかった。

→指導案の文言を修正して、授業との整合性を図る。

・試合中の姿勢や構え方などをどのように指導していくか

→低学年から見通しを持って学習を進め、習得させていく必要がある。

第8時

めあて確認

自分のチームの特徴にあった作戦をゲームで成功させよう。

自チームの特徴、作戦にあった練習 ゲーム①

アカハチタイム



ハーフタイム



ゲーム終了後作戦タイム



授業の流れ

1. 前時の振り返り
2. 今日のめあての確認と作戦タイム (5分)
 - ・作戦は確認済みのため練習からスタート
3. 第1試合
 - ・前後半7点先取、合計点で勝敗
 - ・試合中どちらかが4点取ったらアカハチタイム (30秒)

作戦タイム：データシートなどを活用して次の試合の話し合いを行う。
4. 第2試合
 - ・前後半3点先取、合計点で勝敗

ワークシートにて振り返り

さらに2分間作戦タイム



動きだけじゃなくて声のフェイントをかけようと作戦をたてるチームが出た。うまく動けていない仲間に具体的に動きを説明している。

ゲーム②

反省、振り返り

作戦をできた、出来なかった理由を書く。



○授業の感想

前回からは打って変わって、動きが少し悪かった。特に試合中の声かけが上手く出来ていなかった。移動時の機敏さがなかった。

アカハチタイム（テクニカルタイムアウト）では、ウォッチマンからのアドバイスを基に話し合う姿が見られたが、あまり活発に出来ていなかった。そこで、第1試合終了後に、授業のめあてを確認し、2分間の作戦タイムを行った。

もう少し活発に活動出来るかと思ったが、子どもたちのモチベーションを上げきれなかった。事前の声かけが少なかったのではないかと反省した。